

【令和 7 年度事業報告】

(1) 協議会開催状況

- ・ 令和 7 年 5 月 22 日 第 1 回（書面）

・ 令和 6 年度事業報告、収支決算報告、会計監査報告 ・ 令和 7 年度事業計画（案）、収支予算（案） ・ 中頓別町・浜頓別町地域公共交通計画の変更について

- ・ 令和 7 年 12 月 22 日 第 2 回（書面）

・ 令和 7 年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（案）

(2) デマンドバス（中頓別浜頓別線）の運行状況

運行期間：令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

図表 1 時刻表

下り（音威子府→浜頓別）					上り（浜頓別→音威子府）		
停 留 所 名		時刻（目安）			停 留 所 名		時刻（目安）
		1便	2便	3便			1便
◎	音威子府	11:00	14:20	16:10	◎	浜頓別ターミナル	13:25
	上音威子府	11:12	14:32	16:22	◎	浜頓別高校	13:27
	小頓別	11:21	14:41	16:31	◎	農試住宅前	13:28
	上頓別	11:27	14:47	16:37		下頓別	13:38
	敏音知	11:35	14:55	16:45	◎	旭台団地前	13:49
	松音知	11:44	15:04	16:54	◎	中頓別ターミナル	13:51
	天北厚生園前	11:52	15:12	17:02	◎	本通り	13:52
◎	中頓別長寿園前	11:53	15:13	17:03	◎	中頓別長寿園前	13:53
◎	本通り	11:54	15:14	17:04		天北厚生園前	13:54
◎	中頓別ターミナル	11:55	15:15	17:05		松音知	14:02
◎	旭台団地前	11:57	15:17	17:07		敏音知	14:11
	下頓別	12:08	15:28	17:18		上頓別	14:19
◎	農試住宅前	12:18	15:38	17:28		小頓別	14:25
◎	浜頓別高校	12:19	15:39	17:29		上音威子府	14:34
◎	浜頓別ターミナル	12:21	15:41	17:31	◎	音威子府	14:46

※「◎」：停留所 「|」：フリー乗降区間

図表 2 運賃（円）

基本運賃							浜頓別
							下頓別
							300
							中頓別
							200
							500
							松音知
							300
							500
							700
							1000
							敏音知
							200
							500
							700
							1000
							上頓別
							100
							300
							600
							800
							1000
							1300
							小頓別
							200
							300
							500
							800
							1000
							1200
							1500
音威子府							200
							400
							500
							700
							1000
							1200
							1500

（円）

割引運賃

障がい者 割引	小児割引 (就学前)	都市間バス 乗継往復割引		
		名寄	旭川	札幌
半額	半額	半額	半額	無料

1月改正

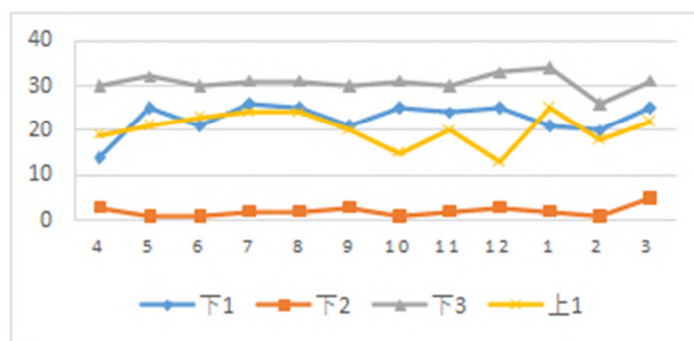
障がい者 割引	小児割引		都市間バス 乗継往復割引		
	未就学児	小学生	名寄	旭川	札幌
半額	無料	半額	半額	半額	無料

図表 3 運行時間と距離、売上

月	出庫→入庫		実運行時間		売上 (円)
	時間	km	時間	km	
4	146:34	4,700	54:48	8,794	94,800
5	202:00	6,420	71:45	12,120	151,000
6	197:29	6,308	67:46	11,849	131,900
7	218:31	6,849	81:35	13,111	176,500
8	202:59	6,625	77:37	12,179	160,800
9	186:15	6,251	71:43	11,175	133,900
10	191:17	6,415	71:16	11,477	136,400
11	200:04	6,441	75:18	12,004	157,300
12	208:07	6,617	76:07	12,487	158,100
1	202:23	6,649	77:24	12,143	157,800
2	152:12	5,332	62:24	9,132	122,200
3	198:37	6,414	74:31	11,917	140,800
計	2354:56	75,021	877:55	138,388	1,721,500

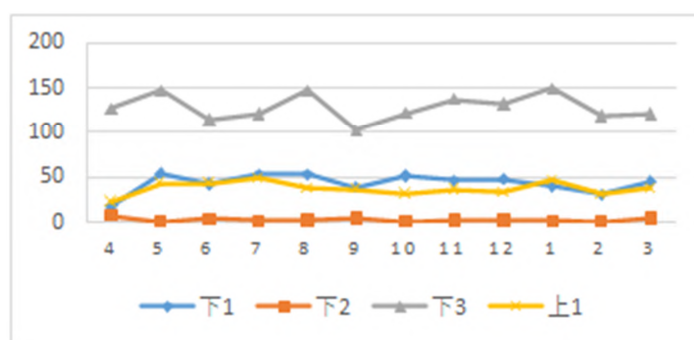
図表4 運行回数（回）

月	下1	下2	下3	上1	月合計
4	14	3	30	19	66
5	25	1	32	21	79
6	21	1	30	23	75
7	26	2	31	24	83
8	25	2	31	24	82
9	21	3	30	20	74
10	25	1	31	15	72
11	24	2	30	20	76
12	25	3	33	13	74
1	21	2	34	25	82
2	20	1	26	18	65
3	25	5	31	22	83
便合計	272	26	369	244	911



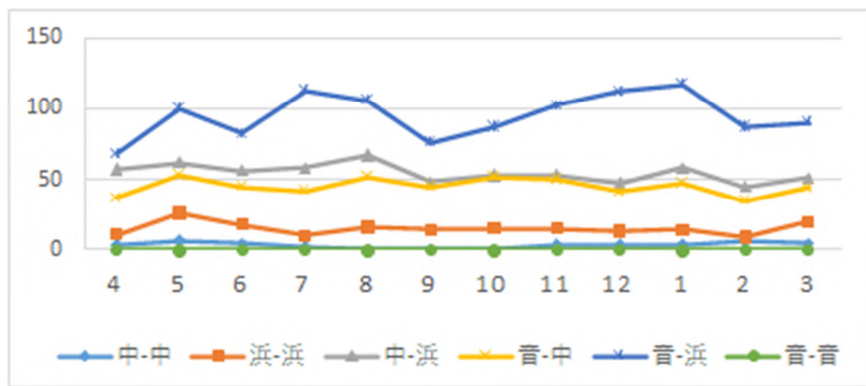
図表5 便ごとの乗車人数（人）

月	下1	下2	下3	上1	月合計
4	18	8	127	23	176
5	55	1	147	44	247
6	43	4	114	44	205
7	53	2	121	49	225
8	53	3	147	38	241
9	39	5	102	37	183
10	52	1	122	32	207
11	47	3	137	36	223
12	48	3	132	33	216
1	41	2	149	47	239
2	31	1	119	31	182
3	45	5	121	38	209
便合計	525	38	1,538	452	2,553



図表6 区間ごとの乗車人数（人）

月	中-中	浜-浜	中-浜	音-中	音-浜	音-音	月合計
4	3	11	57	37	68	0	176
5	6	26	62	53	100	0	247
6	4	18	56	45	82	0	205
7	2	10	58	42	113	0	225
8	0	16	67	52	106	0	241
9	0	14	48	45	76	0	183
10	0	15	53	52	87	0	207
11	3	15	53	50	102	0	223
12	3	13	47	41	112	0	216
1	3	14	58	47	117	0	239
2	6	9	45	35	87	0	182
3	4	20	51	44	90	0	209
合計	34	181	655	543	1,140	0	2,553



図表7 オンライン予約システム（ロコバス）利用状況

受付月	総 予約数	admin 予約数	ネット 予約数	乗車月	総 予約数	admin 予約数	ネット 予約数	ロコバス 利用率
4	137	0	137	4	128	0	128	72.73%
5	171	0	171	5	174	0	174	70.45%
6	149	0	149	6	146	0	146	71.22%
7	146	1	145	7	154	1	153	68.44%
8	141	1	140	8	147	1	146	61.00%
9	149	1	148	9	131	0	131	71.58%
10	106	3	103	10	147	2	145	71.01%
11	196	57	139	11	160	50	110	71.75%
12	151	6	145	12	141	3	138	65.28%
1	147	1	146	1	178	4	174	74.48%
2	144	0	144	2	125	0	125	68.68%
3	173	1	172	3	171	0	171	81.82%
合計	1,502	71	1,431	合計	1,500	61	1,439	-

(3) 地域公共交通計画の指標と目標値

成果指標：新たな運行体系による公共交通（浜頓別町・音威子府村間）の利用者数（人/年）

R4 (策定時)	R5	R6	R7	R8	R9 (目標値)
0	1,474 (※1)	2,563	2,553	-	1,400

※1 実証運行及び本格運行に係る8か月間

成果指標：公共交通への公的資金投入額（百万円/年）

R4 (策定時)	R5	R6	R7	R8	R9 (目標値)
47.9	39.5 (※2)	12.89 (※3)	15.55 (※3)	-	15.0

※2 天北宗谷岬線補助額（2町）33.3百万円＋デマンドバス経費6.2百万円

※3 R6以降、地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価における実績値

資料 2

【令和 7 年度収支決算報告】

(収入の部)

(単位:円)

項目	R7 予算額	R7 決算額	差額	備考
負担金	0	0	0	R7 負担金なし
補助金	0	4,103,000	4,103,000	R7 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
繰越金	3,692,433	3,692,433	0	
諸収入	567	777	210	
合計	3,693,000	7,796,210	4,103,210	

(支出の部)

項目	R7 予算額	R7 決算額	差額	備考
会議費	26,000	0	△ 26,000	
事務費	16,000	440	△ 15,560	口座振込手数料
事業費	132,000	0	△ 132,000	
予備費	5,000	0	△ 5,000	
諸支出金	3,514,000	3,514,000	0	R6 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
合計	3,693,000	3,514,440	△ 178,560	

収入計 支出計 次年度繰越

7,796,210	3,514,440	4,281,770
-----------	-----------	-----------

会計監査報告

中頓別町・浜頓別町地域公共交通活性化協議会

会長 遠藤 義一 様

監査 中頓別町社会福祉協議会

会長 丸山 博光



監査 浜頓別町社会福祉協議会

会長 横山 豊広



令和7年度の本会の会計監査の結果を、次のとおり報告します。

記

- 1 監査年月日 令和8年 4 月 24 日（中頓別町社会福祉協議会）
令和8年 5 月 12 日（浜頓別町社会福祉協議会）
- 2 監査事項 収入支出伝票、領収書、預金通帳の確認
- 3 監査結果 伝票、証拠書類等を照合の結果、適正と認める。

【令和 8 年度事業計画（案）】

- （１）デマンドバス（中頓別浜頓別線）に関する協議及び運行
 - ・運賃改正（資料 4 － 2）
 - ・マイクロバスの購入、実態調査の実施（資料 4 － 3）
 - ・地域公共交通計画別紙（資料 4 － 4）
- （２）関係機関及び関係事業者の連絡調整及び情報交換

運賃改正について

1. 往復割引運賃の廃止

現行運賃割引メニュー

障がい者 割引	小学生 (就学児)	未就学児	都市間バス 乗継往復割引		
			名寄	旭川	札幌
半額	半額	無料	半額	半額	無料

経過

デマンドバスへの移行に際して、運賃のギャップを解消する経過措置として、都市間バスの往復利用に接続する便の運賃割引を実施。他の公共交通機関との取り扱いを共通化するため、R6年度からは、未就学児の運賃の無料化してきたところ。

この間、他の公共交通機関においても運賃が上昇していることも含め、当該割引運賃の必要性について、事務局で協議を続けてきた。

※利用実績概算

- ・年間利用延べ人数：約 500 人（実人数としては 200 人強）
→多い方で月 1 回程度の利用実績あり
- ・自治体ごとの利用割合：中頓別町 23%、浜頓別町 77%

問題点

- ・往復確認のための折り返し連絡など非効率な事務が発生
→電話予約の際、オペレーターからの説明も困難、オンライン予約にも支障
- ・この間、えさし号の休止に伴い、実質的に札幌往復に接続する下り 3 便のみ適用
- ・事務局や受託事業者では往復利用の有無を確認できないことから、利用対象である可否が自己申告であるため、一定数の不正利用が見込まれている

改正案

障がい者 割引	小学生 (就学児)	未就学児
半額	半額	無料

- ・運行エリア内の料金を引き下げることで割引廃止のインパクトを緩和する（後述の運賃表改正）

1. 運賃表の改正

現行運賃（円）

							浜頓別T
						下頓別	300
					中頓別T	200	500
				松音知	300	500	800
			敏音知	200	500	700	1000
		上頓別	100	300	600	800	1100
	小頓別	200	300	500	800	1000	1300
音威子府	200	400	500	700	1000	1200	1500

※中頓別 T には、本通り、長寿園前、旭台団地前を含む
 ※停留所間の乗降については、乗車地点の前の地点、降車地点の後の地点を参照

問題点

- ・ 区間によって料金の不公平感（浜高～浜頓別 T で 300 円、上頓別～敏音知 100 円 など）
- ・ 中頓別 T に含む停留所間の運賃が設定されていない
 →例：旭台団地前～長寿園前の場合、乗降どちらも中頓別 T を参照する など
- ・ 下限が 100 円の区間において、半額割引の適用が困難（100 円未満切り捨て）

改正案

						農試住宅前 ～浜頓別T
					道道入口～ 4町内	浜頓別
				長寿園前～ 旭台団地前	下頓別	200
		上頓別～ 藤山	周厩～ 松音知	中頓別	200	400
	秋田入口～ 小頓別	松音知		200	400	600
		上頓別・敏音知	200	400	600	800
	小頓別	200	400	600	800	1000
音威子府	200	400	600	800	1000	1200

- ・ 生活圏や利用実態に即し、停留所をエリアとして設定する
- ・ 半額割引を前提として運賃の単位を 200 円とし、同じエリア内での乗降も 200 円とする
 →乗車した時点で 200 円、エリアを超えるごとに 200 円加算するイメージ
- ・ 運賃表上、上頓別と敏音知を合わせることで、増額が発生せず全体的に料金を引き下げ
- ・ エリア間の乗降は従前と同様、乗車地点の前の地点、降車地点の後の地点を参照

今後のスケジュール

- ・ 5 月以降 改正内容の周知（広報紙、HP 等）
- ・ 10 月 1 日 運賃改正

マイクロバスの購入、実態調査の実施について

1. マイクロバスの購入

天北宗谷岬線からの転換にあたって、10 人乗り 2 台、29 人乗り 1 台を導入し、そのうち主としてデマンドバスの運行に使用する車両 1 台分を浜頓別町と 1/2 ずつ負担して購入した。車検や破損等の都合により、車両が不足する際には、登録している中頓別町公用車を使用している。

・自家用有償旅客運送登録車両

転換時購入

- ・ 1640 デマンドバス用 10 人乗り 政策経営課 (2 町で 1/2 ずつ負担)
- ・ 1006 浜高通学用バス 10 人乗り 教育委員会
- ・ 1278 浜高通学用バス 29 人乗り 教育委員会

既存車両

- ・ 3957 小中スクール用 10 人乗り 教育委員会
- ・ 1163 スポーツ巡回車 29 人乗り 教育委員会
- ・ 1145 小中スクール用 29 人乗り 教育委員会
- ・ 7462 管財 10 人乗り 建設課
- ・ 887 福祉ワゴン 14 人乗り 建設課
- ・ 337 管財 26 人乗り 建設課

現在の状況として、当初の想定よりも運行回数および乗車人数が多く、加えて 1 便あたりの乗車人数および手荷物の状況から、29 人乗り車両を運用する機会があることから、デマンドバス用の 29 人乗りマイクロバスを購入を見込んでいる。最前列のシートを外して、27 人乗りとして発注し、荷物置き場を確保する。(10 月以降に購入の手続きを予定)

2. 実態調査

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱の改正により、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の活用に向けて、フィーダー系統の自立に向けた取組内容を反映する必要がある。以降、各年度において実態調査、目標設定、評価等をひとつのサイクルとして運用していく。

今年度から実施が求められるところ、具体的な実態調査の手法については、今後、事務局および受託事業者と協議のうえ検討する。

令和 8 年 5 月 2 1 日

(名称) 中頓別町・浜頓別町地域公共交通活性化協議会

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

中頓別町及び浜頓別町では、公共交通の利用者の減少やそれに伴う交通事業者に対する補助金額の増加が課題となっていることから、経費を抑えながらも現状より利便性を下げず利用者を確保し、将来にわたって維持していくことのできる新たな交通体系の検討が求められている。

人口減少・少子高齢化が進行している中でも、「人口ビジョン」における年少人口は現在と同程度を目標値としていることから、本地域における学生、特に唯一の高等学校である浜頓別高等学校の生徒の両町にまたがる通学手段の確保が今後とも必要である。

また、高齢者の割合が大きくなることが予測されている中で、総合病院への距離が80 km以上ある本地域では、自家用車の利用が難しくなる高齢者に対する地域旅客運送サービスの提供がより一層必要となるほか、拠点病院などのある主要都市への人口の流出を抑えることや移住定住を促進する上でも都市部への交通手段の確保等、住民のニーズに応じた公共交通の提供が重要となる。

これらに対応するため、令和5年10月から宗谷バス㈱による路線バスに代わって中頓別町及び浜頓別町によるデマンドバス（中頓別浜頓別線）の運行を開始する。

地域公共交通確保維持事業により、当該デマンドバスの運行を確保・維持していくことで、地域住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果**(1) 事業の目標**

デマンドバス（中頓別浜頓別線）の利用者数を1,400人以上とする。

デマンドバス（中頓別浜頓別線）の公的資金投入額を15.0百万円以内とする。

（中頓別町・浜頓別町地域公共交通計画 P22 参照）

(2) 事業の効果
デマンドバス（中頓別浜頓別線）を維持することにより、自家用車を利用しない高齢者等の本地域から拠点病院や大型商業施設などのある都市部への交通手段が確保される。 また、鉄道路線や都市間バスとの乗り継ぎを踏まえたダイヤ設定とすることで、地域住民の利用だけでなく、地域外から本地域への観光客等の利用も期待できる。 さらには、需要に応じた運行を行うため公的資金投入額の抑制も図られる。
3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体
・中頓別町・浜頓別町地域公共交通活性化協議会の開催による交通関係者との連携及び公共交通の新たな体系等に関する協議（中頓別町・浜頓別町） ・利用者ニーズを把握するためのアンケート等による情報収集（中頓別町・浜頓別町） ・利用者の増加や交通サービスの認知度向上に向けた広報活動（中頓別町・浜頓別町） ・公共交通の交通体系の見直し等による経費の削減（中頓別町・浜頓別町） 該当ページ：20
4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者
表1を添付
5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額
地域公共交通計画確保維持事業によって運行の維持を図るデマンドバス（中頓別浜頓別線）に要する費用の総額：16,000千円 負担者：中頓別町及び浜頓別町、利用者、国 負担額：利用者からの運賃収入及び国からの補助金を除いた額を両町それぞれ半額ずつ負担
6. 2. の目標・効果の評価手法及び測定方法
・運行委託先保有の乗降データによる利用者数の把握 ・中頓別町及び浜頓別町の普通会計決算による公的資金投入額の把握
7. 別表1の補助対象事業の基準ホただし書に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要 <u>【地域間幹線系統のみ】</u>
※該当なし
8. 別表1の補助対象事業の基準ニに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧 <u>【地域間幹線系統のみ】</u>
※該当なし
9. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項 <u>【地域間幹線系統のみ】</u>
※該当なし

10. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要 【地域内フィーダー系統のみ】 中頓別町は北海道の北部、宗谷地方に位置し、音威子府村、中川町、幌延町、浜頓別町及び枝幸町の5町村に囲まれ、秀峰ピンネシリ岳（703m）を中心とした海に面していない内陸のまちで、主な産業は酪農業及び林業である。面積398.51のうちの80%以上が森林の山岳地で、夏は低湿で晴天が多く、冬は極寒で降雪量も多いため、夏の平均気温は23℃前後、冬は-14℃ほどになる。 浜頓別町は中頓別町と同様に、北海道の北部、宗谷地方に位置し、枝幸町、中頓別町、幌延町及び猿払村の4町村に接しており、まちの北東部はオホーツク海に面していて、主な産業は酪農業及び沿岸漁業である。面積401.64のうちの70%以上が山林・原野となっており、ラムサール条約に指定された周囲約27kmのクッチャロ湖や湿原を抱え、年間を通じて風が強いため夏は涼しく、冬には流氷が接岸する。 両町の間は約20kmあり、最も近い鉄道路線駅のある音威子府村までは中頓別町から約38kmの距離がある。 また、拠点病院のある稚内市及び名寄市までは、それぞれ浜頓別町から約81km、中頓別町から約88kmの距離がある。 表5を添付 11. 車両の取得に係る目的・必要性 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】 デマンドバス（中頓別浜頓別線）の運行にあたって、現状、デマンドバス専用車両1台のほか、運行時間の重複及び整備時の代替として既存の中頓別町の公用車を運用していることから、安定的な運行を確保していくためにデマンドバス専用車両を購入する必要がある。 12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】 （1）事業の目標 デマンドバス（中頓別浜頓別線）の利用者数を1,400人以上とする。 （2）事業の効果 高齢者が多く利用する車両であり、既存公用車で代替した際、乗車の段差に困難があるため、購入にあたって、ステップの追加等を行うことで利便性の向上に寄与する。加えて、専用のラッピング加工を施すことで、一般車両との誤認を防止することが期待されるとともに、認知度の向上に寄与する。 13. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の総額、負担者とその負担額 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】 地域公共交通計画確保維持事業によって運行の維持を図るデマンドバス（中頓別浜頓別線）に要する費用の総額：18,000千円 負担者：中頓別町及び浜頓別町、国 負担額：国からの補助金を除いた額を両町それぞれ半額ずつ負担 表6を添付
--

14. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策） 【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
① 車両の代替による費用削減等の内容 ② 代替車両を活用した利用促進策 ※該当なし
15. 貨客混載の導入に係る目的・必要性 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
16. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
(1) 事業の目標
※該当なし
(2) 事業の効果
※該当なし
17. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
18. 協議会の開催状況と主な議論
・ 令和7年5月22日（第1回）書面 令和6年度事業報告、令和7年度事業計画等 ・ 令和7年12月22日（第2回）書面 事業評価
19. 利用者等の意見の反映状況
利用者等からの意見 ・ 音威子府村への通院に使用しているが時の都合が良くない。また、高齢者であるため音威子府駅から病院までの距離を歩くことが厳しい。（知人を通じた意見聴取） →天北号を組み合わせることで対応可能である旨案内した。病院までの徒歩については今後の検討とする。 ・ 海上での仕事であるため予約受付時間内に電話が難しい。海の時化の際に休みになることから前もって予約することも難しい。（来庁による意見聴取） →原則として前日までの予約が必要であるため、当日の急なニーズに対して、対応を検討する。現時点では、起点での飛び乗りに関しては、座席に余裕があれば対応することとしている。 ・ コールセンターの対応が悪く、本当に予約できているのか不安。以前に予約したにも関わらず乗れないことがあった。（来庁による意見聴取） →コールセンター事業者を変更して対応した。

【本計画に関する担当者・連絡先】

（住 所）枝幸郡中頓別町字中頓別 172 番地 6

（所 属）中頓別町政策経営課

（氏 名）立花 慎吾

（電 話）01634-8-7671

（e-mail）kikaku@town.nakatombetsu.lg.jp

表6 車両の取得計画の概要(車両減価償却費等補助)(地域内フィーダー系統)

市区町村名	バス事業者等名	申請 番号	運行の用に供する 補助対象系統名 (申請番号)	補助対象車両の種別			乗車 定員	購入年月	利便 増進 特例 措置	運送 継続 特例 措置	購入等の種別
				イ	ロ	ハ					
中頓別 町・浜頓 別町・音 威子府村	中頓別町	1	(1) 中頓別浜頓別線	小型車両			29	R8.10			一括
		2	()								
		3	()								
		4	()								
		5	()								

(注)

1. 「補助対象車両の種別」については、イ欄にノンステップ型、ワンステップ型、小型車両又はプティバスの別を、ロ欄にスロープ付き又はリフト付きの別を、ハ欄に標準仕様(ノンステップバス認定要領(平成22年6月4日付け国自技第49号又は平成27年7月2日付け国自技第75号)に基づく認定を受けたもの)又は非標準仕様の別を記載すること。
2. 「乗車定員」については、座席数(運転席を含む)に立席数を加えた数を記載すること。なお、立席は座席を除いた面積を1人あたりの専有面積0.14平方メートルで除した数とする(道路運送車両保安基準第24条、第53条)。
3. 「購入年月」については、初年度の場合は購入予定年月を記載すること。
4. 「利便増進特例措置」又は「運送継続特例措置」については、地域公共交通利便増進計画又は地域旅客運送サービス継続実施計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9又は別表10)を受けた補助対象系統の運行の用に供する場合のみ「○」を記載すること。
5. 「購入等の種別」については、一括、割賦又はリースの別を記載すること。

資料 5

【令和 8 年度収支予算（案）】

(収入の部)

(単位:円)

項目	R7 予算額	R8 予算額 (案)	差額	備考
負担金	0	0	0	R8 負担金なし
補助金	0	0	0	R8 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金(仮)
繰越金	3,692,433	4,281,770	589,337	
諸収入	567	1,230	663	
合計	3,693,000	4,283,000	590,000	

(支出の部)

項目	R7 予算額	R8 予算額 (案)	差額	備考
会議費	26,000	26,000	0	委員報酬、費用弁償等
事務費	16,000	16,000	0	口座振込手数料
事業費	132,000	132,000	0	チラシ作成等
予備費	5,000	6,000	1,000	
諸支出金	3,514,000	4,103,000	589,000	R7 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
合計	3,693,000	4,283,000	590,000	